

# にいがた 畜産協会たより

公益社団法人  
新潟県畜産協会

新潟市西区山田2310-15  
全農にいがた第2ビル内  
TEL. 025-234-6781  
~6783



新発田市：なかの牧場 中野浩一氏  
全国優良畜産経営管理技術発表会で優秀賞を受賞



表彰式の様子

## 目次

- ◆ 年頭のご挨拶 ..... (2)
- ◆ にいがた和牛肥育名人による  
出前授業を実施しました! ... (6)
- ◆ 親子ハロウィン料理教室を開催しました! (6)
- ◆ 声のコーナー ..... (7)  
「リスタート」  
佐渡市 岡崎 悠人
- ◆ 畜産安心ブランド生産農場だより ..... (8)
- ◆ ちくさん女子の窓 ..... (8)
- ◆ 編集後記 ..... (8)
- ◆ 全国優良畜産経営管理技術発表会で  
優秀賞を受賞..... (3)  
・新発田市：なかの牧場 中野浩一氏
- ◆ 家畜防疫・衛生指導対策事業 ..... (4)  
～生産者主体で防疫演習を実施しています～
- ◆ 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業の紹介  
..... (4)
- ◆ にいがた畜産女子会「第2回畜産経営に関わる  
会計を学ぶ研修会」を開催しました。 ... (5)



## 年頭のご挨拶



公益社団法人新潟県畜産協会  
会長 伊藤 能 徳

明けましておめでとうございます。

日頃から、皆様方には当協会の業務推進に格別のご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

令和5年の年頭に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、県内関連では、8月に下越地方を中心とした豪雨があり、住宅やライフラインなどに甚大な被害を及ぼしました。畜産関連では直接的な被害は発生しておりませんが、地域農業全体を見れば非常に大きな影響がございました。また、11月に県内養鶏場では2016年以来3例目となる高病原性鳥インフルエンザが発生し、感染拡大を防ぐため約15万3千羽の殺処分が実施されました。

一方、畜産全体を振り返りますと、ウクライナ情勢や円安に伴う配合飼料価格及び牧草価格の高騰の影響を受けて、非常に厳しい経営状況が続いております。このことから、県では飼料高騰対策として緊急支援を講じており、当協会におきましても畜産コンサルを通じて、自給飼料の増産に向けた技術支援や、購入飼料の給与体系の見直し検討など農家支援に努めているところであります。

このような畜産経営に大きな影響を及ぼす不安要素もありますが、5年ぶりに和牛のオ

リンピック「第12回全国和牛能力共進会 鹿児島大会」が開催されるという明るい話題もありました。当県からは、雄牛・雌牛の改良成果を月齢別に審査する「種牛の部」において、第2区（若雌の1）に出品された阿賀町・渡辺俊行氏の「はななつみ4の6」が1等賞11席を受賞、第3区（若雌の2）に出品された佐渡市・岡崎敦氏の「しまふく」が2等賞を受賞しました。枝肉の肉質を審査する「肉牛の部」の第8区（去勢肥育牛）に出品された2頭につきましては、長岡市・関克史氏の「怪物君」が優等賞15席を受賞、村上市・遠山幸一氏の「雪2」が1等賞を受賞しました。

また、公益社団法人中央畜産会主催の「全国優良畜産経営管理技術発表会」において、本県代表の新発田市・中野浩一氏（酪農経営）が「優秀賞」を受賞するという嬉しい話題もありました。

さて、当協会では本年も行政と連携して各種補助事業やコンサル業務及び価格安定制度の運用等を的確に実施し、生産基盤の強化、生産性向上による所得の確保及び家畜衛生対策の徹底に取り組んでまいり所存です。

最後に、令和5年が皆様にとって希望に満ちた明るい年となりますことをご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

# 全国優良畜産経営管理技術発表会で優秀賞を受賞

新発田市：なかの牧場 中野 浩一 氏（酪農経営）

令和4年11月25日（金）第62回農林水産祭参加行事として、公益社団法人中央畜産会の主催で「令和4年度全国優良畜産経営管理技術発表会」が東京都千代田区の都市センターホテルで開催され、本県の中野浩一氏（新発田市・酪農経営）が優秀賞を受賞しました。

この発表会は優秀な実績を収めている畜産経営の表彰と、その成果及びそれを支えた経営管理技術の普及拡大のために開催されたもので、全国の畜産協会等から推薦された事例のうち8事例が当日の発表会において発表を行いました。



発表する中野浩一氏

## 中野 浩一 氏の経営概要

なかの牧場は浩一氏とご両親が稲作と酪農を営み、奥様と従業員2人がジェラート販売店を営む複合経営です。牛舎の近くでは浩一氏の妹が喫茶店を経営しており、農場で生産したお米・生乳を原料にした料理やジェラートを提供しています。

浩一氏は大学院修了後の平成13年に就農して以来、飼養管理技術の向上・自給粗飼料基盤の拡大、ジェラートショップの開店による所得向上に取り組むとともに、酪農教育ファームのファシリテーター認証を取得して、地域の若手酪農家とともに小中学生の農場見学の受け入れや出前授業に取り組み、畜産の理解・共感の推進に尽力してきました。

稲作と酪農の複合経営であることを活かして、自家水田への堆肥の還元と、遊休田での稲WCS生産によって、肥料・粗飼料コストの低減につなげていきます。

出荷米はJAから特別栽培米の認証を受けており、循環型農業の取り組みをコスト削減だけでなく、生産物の高付加価値化につなげています。

また、農場直営のジェラートショップは、平成22年に新発田市月岡温泉街の農産物直売所にオープンしました。

堆肥販売や直販グループへの参加によって構築した、耕種農家とのつながりを通じて仕入れた地元の旬の食材を原料にしたジェラートは、店舗の他にも業務用販売、農場のホームページやふるさと納税サイトなど様々な販路で販売しており、稲作・酪農に頼らずに経営の柱となっています。

## 評価のポイント

受賞においては、中央審査委員会において以下のポイントが評価されましたのでご紹介します。

- ① 妙法育成牧場の積極的な活用による自家産牛主体の牛群整備
- ② 牧草・デントコーン・稲WCSの生産・活用による乳飼比44.9%への低減
- ③ 直営店舗や、妹の喫茶店でのジェラート販売などの六次産業化の取り組み
- ④ ジェラート部門は、奥様と女性従業員2人が中心となって経営に参加しており、週休2日を確保した働きやすい環境づくりを整備
- ⑤ 多額の投資を回避した、借入金のない経営の実現



表彰の様子

## 家畜防疫・衛生指導対策事業 ～生産者主体で防疫演習を実施しています～

新潟県畜産協会では家畜伝染病の発生予防・まん延防止を確実にかつ効率的なものとして地域の自衛防疫体制の構築・強化・維持を図るために、平成25年から（公財）全国競馬・畜産振興会の助成を受けて、生産者主体の防疫演習を開催してきました。

今年度も地元の生産者団体、地域振興局及び家畜保健衛生所等関係機関と協力して、下の2か所において防疫演習を開催しました。

県内では6年ぶりに農場での鳥インフルエンザ発生がありました。豚熱についても県内で野生イノシシへの感染が見つかっており、悪性家畜伝染病の農場への侵入リスクは依然として高い状況です。「自分の農場を自分で守る」ことの重要性が大きくなっています。

当協会では、令和5年度も同様の防疫演習の開催を予定しています。生産者団体・関係機関等で、興味を持たれた方は、ぜひ協会までご相談ください。

| 開催日  | 主催・共催団体                      | 参加人数 | 内容           |
|------|------------------------------|------|--------------|
| 11/8 | 佐渡農業振興連絡会<br>畜産振興会           | 30名  | 机上演習         |
| 12/8 | 津南町養豚組合<br>津南町畜産クラスター<br>協議会 | 21名  | 机上演習<br>実技演習 |



机上演習の様子

## 優良肉用子牛生産推進 緊急対策事業の紹介

### 事業の目的等

肉用子牛の価格が短期間で大幅に下落し、最近の肉用子牛生産者の経営環境が急激に悪化していることから、経営改善に取り組む肉用子牛生産者や産地強化に取り組む和子牛生産者を支援するための事業です。（独）農畜産業振興機構が立ち上げ、当協会は事業実施主体となっています。

### 事業の概要

#### (1) 経営改善推進対策

肉用子牛の品種区分毎の平均価格（月別）が発動基準を下回った場合に、経営改善に取り組む生産者に対して、販売頭数に応じた奨励金を交付します。

#### ○品種区分毎の発動基準

| 品種区分 | 発動基準A<br>(1万円/頭) | 発動基準B<br>(3万円/頭) |
|------|------------------|------------------|
| 黒毛和種 | 60万円             | 57万円             |
| 褐毛和種 | 55万円             | 53万円             |
| 其他肉専 | 35万円             | 34万円             |
| 乳用種  | 18万円             | 17万円             |
| 交雑種  | 30万円             | 29万円             |

※発動基準は消費税込価格。

※黒毛和種はブロック別、他の品種については全国の平均価格で発動を判断。

#### (2) 和子牛産地強化推進対策

和子牛について、(1)が発動する際に1万円/頭を加えて交付します。

### 対象となるための要件

経営改善や和子牛の産地強化に繋がる前向きな取り組みをしている者の肉用子牛生産者補給金制度に登録済みで令和4年9月～12月に販売された子牛。

※経営改善については8つのメニューから3つ以上、和子牛の産地強化については7つのメニューから1つ以上に取り組むこと。

# にいがた畜産女子会

## 「第2回 畜産経営に関わる会計を学ぶ研修会」を開催しました。

令和4年12月16日に、「第2回畜産経営に関わる会計を学ぶ研修会」をJA全農にいがた県本部（新潟市西区）会場とオンラインで開催しました。

前回に引き続き、神田知宜<sup>ともりのり</sup>税理士事務所（新潟市東区）の榎並隼<sup>じゅん</sup>氏を講師に迎え、令和4年1月に開催した第1回の研修会からさらに詳しく会計を学びました。

今年10月から開始されるインボイス制度（適格請求書等保存方式）についても詳しく教えていただきました。



榎並隼氏

最初に、復習として、財務諸表の見方について講義があり、さらに「これ経費になりますか？」と題して、質問の多い経費の科目について、どのような場合が経費に該当するのか、または該当しないのかを例を交え教えていただきました。

インボイス制度の講義では、最初に消費税の仕組みについて説明があり、続いてインボイス制度の仕組みを学びました。

また、制度の現在の状況についても説明がありました。



研修会の様子

講師への質問では、会員から、「このような場合は経費になるのか。」という質問や、「インボイス制度は今後どのように取り組めばよいのか。」という質問がありました。

今回は、前回皆様にご好評いただいた、会計を学ぶ研修会の第2弾ということで、財務諸表や経費の見方以外にもインボイス制度という旬な情報をお送りさせていただきました。これからも皆様のお役に立てる研修会をどんどん開催して参りたいと思います。

女子会の今後の活動ですが、2月に「ものづくり教室」を予定しております。本年もどうぞよろしく願いいたします。

女子会に興味がある方は、事務局（025-234-6782）佐藤・鈴木までご連絡下さい。



# にいがた和牛肥育名人による 出前授業を実施しました！



にいがた和牛  
イメージキャラクター  
「ニーモ」

にいがた和牛推進協議会では、和牛生産や「にいがた和牛」へ一層の理解と親しみを持ってもらい、消費拡大を図ることを目的に、優れた生産技術を持つ「にいがた和牛肥育名人」が県内小中学校を訪問する出前授業を11月から12月にかけて5校を対象に実施しました。

授業では、肥育名人が和牛農家への就農理由や仕事の魅力・厳しさなどについて語ると、生徒からは仕事へのやりがいやおすすめの牛肉の部位など様々な質問が飛び、子供たちにとって畜産を身近に感じ、また興味を持つきっかけとなる取組となりました。



## 親子ハロウィン料理教室を開催しました！



令和4年10月30日(日)、新潟調理師専門学校様のご協力のもと、ハロウィン料理教室を開催し、延べ18名が参加しました。

今回は新潟県統一和牛ブランド「にいがた和牛」の知名度向上・消費拡大を目的として、にいがた和牛を用いた「ハロウィンかぼちゃミートパイ」「牛肉のカップサラダ」の2品を調理しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、出来上がった料理は容器に詰めてお持ち帰りいただいたため、完成した料理の感想を頂くことはできませんでしたが、専門学校の皆様の手厚いサポートもあり、開催後に実施したアンケートでは、全員から「参加してよかった」との評価を頂くことができました。

当協会では同様に「にいがた和牛」を食材とした料理教室の開催を、2月26日にも予定しています。



専門学校のスタッフさんが丁寧にサポートしてくれました。



新潟調理師専門学校の吉田先生に講師を務めていただきました。



玉ねぎが目にしみる！



うまく焼きあがるかな？



牛肉のカップサラダ



ハロウィンかぼちゃミートパイ

\*\*\*\*\* 声のコーナー \*\*\*\*\*



佐渡市：  
肉用牛繁殖経営 岡崎 悠人

『リスタート』



悠人さん（左）と父の敦さん

現在成牛23頭、育成5頭飼育しています。

その中の「しまふく」が鹿児島で行われた第12回全国和牛能力共進会に若雌の部で出場しました。自分も全共の和牛審査協議会に参加するため、鹿児島に行かせてもらえることになりました。飛行機の狭い機内にたくさんの方がいて息苦しい2時間でした。家畜車で運ばれる牛の気持ちが少し理解できた気がします。

私は二日目の1～3区の審査を見学しました。宮崎や鹿児島県の出場牛は体高と後躯幅の違いが遠くから見てもはっきり分かるほどで、レベルの違いを感じました。

しまふくはあまり食欲がなく、元気がなさそうに見えました。慣れない環境で一週間頑張ったと思います。

審査協議会は、優劣のつけ方を審査委員の方に解説してもらいました。とても勉強になりました。

普段の仕事は、牛の飼養管理、牧草収穫です。果樹組合の方に堆肥として利用してもらうため牛糞を運ぶこともしています。

配合飼料、輸入粗飼料、機械の燃料の価格の高騰がずっと続いており、畜産農家の対策だけではどうしようもなくなっていますが、続けられるうちはこの仕事を頑張りたいと思っています。

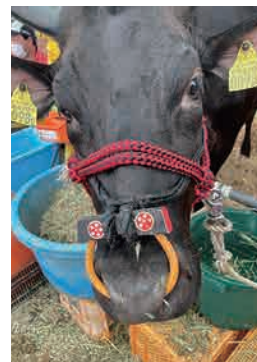
BUMP OF CHICKENというバンドの「真っ赤な空を見ただろうか」の歌詞に

「夕焼け空 きれいだと思う心を どうか殺さないで  
そんな心 馬鹿正直に 話すことを馬鹿にしないで」

という部分があります。

夕焼け空をきれいだと思う心=子供のころのような心と考え、その時の気持ちをなくさないようにと解釈しています。

子供のころの牛と関わっていた時の気持ちを大人になっても忘れないように、牛の管理をしていけたらと思います。



しまふく

畜産映像情報

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

**がんばる! 畜産! 6**

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!  
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!

配信中の内容: 国産原料100%の飼料で黒毛和牛を肥育する農家に密着! / シリーズ 令和の畜産危機にさせないために / 放牧で飼料代・燃料代を抑えた酪農経営 / 他

◀スマートフォンからはこちら  
▼パソコンからはこちらで検索

**がんばる畜産** 🔍

(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846

## 畜産安心ブランド生産農場だより

新潟市南区：

養豚経営 秋山 大輝

当養豚場は、新潟市南区で母豚約90頭の一貫生産農場を営んでいます。当養豚場は昭和54年に味方村養豚団地として発足し、祖父・父・私で3代を経過しております。西蒲原の稲作地帯での養豚経営は、弥彦村・巻町・燕市・吉田町・潟東村・白根市等で養豚団地が造成され、当村でも団地が造成されました。祖父の代からの経営経過は40数年になります。

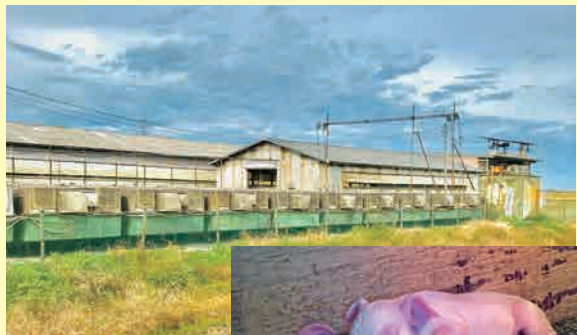
4年前より日本養豚事業協同組合に加入しました。組合のメンバー方には、不安なことや疑問点がある時は、相談させてもらっています。私自身まだまだ未熟なところがあるため、日本養豚事業協同組合のメンバーの方とのかかわりで勉強させていただいていることが多くあります。また、県内外のセミナーにも積極的に参加することにより、いろいろな情報を入手することができます。

近年飼料費等の高騰で農場経営を継続することが厳しい状況が続いていますが、日々の作業の中で、出荷頭数・枝重量・品質のムラをなくすように心がけています。

そのためには、環境対策や疾病対策も必要なことだと思っています。洗浄・消毒・乾燥をしっかりと取り組み、消費者の方々に安心して美味しく食べられる豚肉を提供できるよう日々頑張りたいと思います。

我が農場の課題は、豚舎の老朽化が著しいことです。毎年毎年少しずつ計画を持って、修理・修繕を行っていますが追いつきません。新しい技術が導入され施設・器具等も進歩しているのを見ると、すぐにでも導入し経営の効率化を図りたいとも思っていますが、厳しい生産環境を考えればどうしても躊躇してしまいます。しかし、労働・生産性向上のため改善を図るつもりです。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。



## ちくさん女子の窓

養鶏経営：有限会社 ツバメファーム 清水さつき

我が家はもともとコメ農家でした。新たな農業で生計を立てようと、約60年前に父が養鶏を始めました。

私たち四姉妹は小学校から帰ると卵採りを手伝っていました。生き物相手なので、お正月でも子どもなお休みは無し（笑）。

養鶏のお仕事を家族で助けあって現在に至ります。

小規模の農場なので、手作業で鶏たちの状態をチェックし採卵する飼育方法ができます。

「よいエサ」「よい水」「よい環境」で健康に育てた鶏の卵で、食べた人を健康にしたいという想いでこれからも頑張っていきます。

一生懸命作ったこだわり卵をすぐにお届けできるように、自動販売機で24時間直売しています。ぜひ一度食べてみて下さい。



ツバメファーム（燕市道金485番地）の自動販売機

## 編集後記



新しい年がやってきました。コロナウイルス感染症も新薬が承認され、第5類への見直しが検討されるなど徐々に収束へ向かっているように思います。

イベントも昨年より各地で行われるようになってきましたね。県外との往来もしやすくなりつつあります。

今年は昨年よりもっと活動できる世の中になってほしいなと思います。（鈴木）

女子会でお世話になった先生のせっけん教室。久しぶりに参加し、牛柄のせっけんを作りました！

